平成28年度事務事業一覧表　　課名：下水道課　　第1号様式

事業番号	事業名	内　容	対象外項目番号
	公共下水道運営事務事業	公共下水道事業運営	
1	公共下水道運営事務事業	公共下水道の運営事務	②
2	地方公営企業法適用事務	地方公営企業法適用の基本計画作成	⑥
3	下水道運営審議会事業	下水道運営審議会の開催	②
	受益者負担金等賦課徴収事業		
4	受益者負担金賦課徴収事業	受益者負担金の賦課徴収	①
5	公共下水使用料徴収事業	公共下水道使用料の県企業庁への一括徴収委託賦課徴収	①
	公共下水道維持管理事業		
6	維持管理事業	公共下水道施設維持管理	－
7	負担金補助金事業	負担金等	①
8	公共下水道整備事業	公共下水道整備	③
9	相模川流域下水道等建設負担金事業	相模川流域下水道建設負担金	③
10	下水道施設災害復旧事業	科目の設定	②
11	下水道債に対する元金	下水道債に対する元金	①
12	下水道債に対する利子	下水道債に対する利子	①
13	一般会計繰出事業	科目の設定	①
14	河川総務運営事務事業	河川維持管理	－
15	準用河川血洗川改修事業	血洗川護岸一部整備	③
16	河川災害復旧事業	科目の設定	①

平成　28　年度事務事業評価シート

第２号様式

		シート作成日	平成28年10月11日
予算事業名	公共下水道維持管理事業	担当課名	下水道課
		係名	下水道整備係
細分事業名	維持管理事業	事業番号	５
		事業開始年度	平成２年度

１.総合計画上の位置づけ

柱	Ⅲ　人と自然が共生する循環のまちづくり	総合計画実施計画	
部門	５　河川・生活排水	認定番号	３－１３
大施策	Ｂ　生活排水処理の推進	事業名	公共下水道維持管理事業
中施策	（１）公共下水道事業の推進		

２.事業の概要

根拠法令・条例等	下水道法			
個別計画等	—			
行政経営プラン 実施計画事業	実施番号	—	実施項目名	—
目的 （何のために）	既存の下水道施設を適切に維持管理し、生活環境の保全を図ると共に、町内を流れる河川や公共用水域の水質保全を図る。			
対象 （誰を・何を）	既設下水道管等施設			
内容	既設下水道管及びマンホール等施設の維持管理や修繕を行い、町内14ヶ所に設置してあるマンホールポンプの維持管理を行うとともに、流域下水道との接続付近に設置した流量計の維持管理を行う。 また、下水道法第23条に基づく、下水道台帳整備を行う。 なお、平成27年度に、老朽化した流量計の改築工事を行い、平成27年度から３ヶ年で石神台地区の汚水管の修繕工事を実施中。			
執行体制	□ 町職員実施	■ 一部委託あり	□ 全部委託	□ その他

		単位	平成26年度 （決算）	平成27年度 （決算見込）	平成28年度 （予算）
事業費	直接事業費　(a)	千円	21,608	71,136	61,573
	国庫支出金	千円			
	県支出金	千円			
	起債	千円			
	その他	千円	17,359	47,160	61,573
	一般財源	千円	4,249	23,976	
	職員人数（概算職員数）	人	0.56	0.71	1.10
	人 件 費 計　(b)	千円	3,432	4,238	6,349
	総事業費 (a)+(b)	千円	25,040	75,374	67,922

事業費内訳 Ｈ　28　年度	普通旅費：4千円、消耗品費：104千円、燃料費：6千円、光熱水費：1,123千円、修繕料：2,375千円、通信運搬費：722千円、手数料：70千円、火災保険料：3千円、総合賠償補償保険料：52千円、管理委託料：5,360千円、調査委託料：5,000千円、下水道台帳整備委託料：6,200千円、電子計算機プログラム使用料：284千円、用地借上料：220千円、機械借上料：50千円、工事請負費：40,000千円

３.指標値の推移

各種指標の実績と見込み、目標 （ 指 標 名 ）			単位	26年度 （実績値）	27年度 （実績値）	28年度 （見込み又は計画値）
対象指標 （対象者数等）	①	汚水管渠延長	m	94,746	102,631	107,631
	②					
活動指標 （活動量）	①	修繕件数	件	5	7	12
	②					
成果指標 （達成度等）	①	修繕件数	件	5	7	9
	②					

4.事務事業の評価

妥当性	・実施主体は妥当か		■ 妥当　□ おおむね妥当　□ 変更の必要あり　□ その他
		理由	直営や外部委託により適正な維持管理を行った。
	・実施手段は妥当か		■ 妥当　□ おおむね妥当　□ 改善の必要あり　□ その他
		理由	直営や外部委託により適正な維持管理を行った。
成果	・意図した成果が得られているか		□ 得られている　■ おおむね得られている　□ 得られていない　□ その他
		理由	下水道施設の維持管理及び突発的な修繕に対応している。
効率性	・コストに対して効率的か		□ 効率的　■ おおむね効率的　□ 非効率　□ その他
		理由	直営でなく外部委託により対応することも検討の余地がある。
	・コストの削減等を図ったか		□ 図った　□ 図られていない　□ 図る余地は無い　■ その他
		理由	直営でなく外部委託により対応することも検討の余地がある。

担当課による評価	■ A 妥当性、成果、効率性はおおむね良いが、改善の余地がある □ B 事業の一部見直しが必要 □ C 事業の抜本的な見直しが必要 □ D 事業継続の必要性が低い（休止・廃止）	評価理由 外部委託等の検討が必要。

5.改革・改善の方向性

①　課題点や改善点

下水道施設のストックマネージメント（長寿命化計画）を含めた新たな事業計画を平成30年11月までに策定する必要がある。

②　平成28年度に着手する事項

下水道施設のストックマネージメント（長寿命化計画）策定に向けた研究・資料収集等
石神台地区汚水管修繕工事（平成27年度～平成29年度）
下水道ＢＣＰの策定

③　平成29年度に着手する事項

新たな事業計画の策定
石神台地区汚水管修繕工事（平成27年度～平成29年度）
下水道ＢＣＰの更新

6.平成29年度事業への取組み状況（改善内容等）

記入日	平成29年3月27日

汚水管の適切な維持管理を行うため、硫化水素による腐食の発生しやすい箇所である、マンホールポンプの維持管理委託や伏越し管（大磯38－１汚水幹線）の浚渫を引き続き行うと共に、石神台地区の汚水管について経年劣化による損傷箇所の修繕工事（平成27年度から３ヶ年計画）を実施していく。
下水道法の改正に伴う「新たな事業計画」の策定については平成30年11月までに策定する必要があるが、平成29年度については情報収集に努め、平成30年度の策定作業が円滑に滞りなく行えるように準備をする。

平成　28　年度事務事業評価シート

第２号様式

		シート作成日	平成28年10月11日
予算事業名	河川総務運営事務事業	担当課名	下水道課
		係名	下水道整備係
細分事業名	河川総務運営事務事業	事業番号	13
		事業開始年度	平成13年度

1.総合計画上の位置づけ

柱	—	総合計画実施計画	
部門	—	認定番号	—
大施策	—	事業名	—
中施策	—		

2.事業の概要

根拠法令・条例等	河川法（準用河川）			
個別計画等	—			
行政経営プラン 実施計画事業	実施番号	—	実施項目名	—
目的 （何のために）	町内河川（町管理の準用河川及び普通河川）の良好な維持管理を行う。			
対象 （誰を・何を）	町管理の準用河川及び普通河川			
内容	・河川河床維持管理業務委託（浚渫・除草）を行う。 三沢川（浚渫・除草）委託延長　Ｌ＝2,068m　谷戸川（浚渫・除草）委託延長　Ｌ＝1,060m 血洗川（除草）委託延長　Ｌ＝763m ・鴫立川維持管理委託（浚渫）委託延長　Ｌ＝334m ・三沢川、鴫立川、血洗川、谷戸川及び長谷川の維持修繕を行う。			
執行体制	□ 町職員実施	■ 一部委託あり	□ 全部委託	□ その他

		単位	平成26年度 （決算）	平成27年度 （決算見込）	平成28年度 （予算）
事業費	直接事業費　(a)	千円	9,925	12,612	11,520
	国庫支出金	千円			
	県支出金	千円	21	21	
	起債	千円			
	その他	千円			
	一般財源	千円	9,904	12,591	11,520
	職員人数（概算職員数）	人	0.16	0.18	0.24
	人 件 費 計　(b)	千円	980	1,074	1,385
	総事業費 (a)+(b)	千円	10,905	13,686	12,905

事業費内訳 Ｈ　28　年度	修繕料：2,500千円、管理委託料：9,000千円、修繕用材料費：20千円

3.指標値の推移

各種指標の実績と見込み、目標 （ 指 標 名 ）			単位	26年度 （実績値）	27年度 （実績値）	28年度 （見込み又は計画値）
対象指標 （対象者数等）	①	委託管理箇所数	件	2	4	4
	②					
活動指標 （活動量）	①	維持管理委託数	件	2	4	4
	②					
成果指標 （達成度等）	①	委託の完成率	%	100	100	100
	②					

4.事務事業の評価

妥当性	・実施主体は妥当か		■ 妥当　□ おおむね妥当　□ 変更の必要あり　□ その他
		理由	直営や外部委託により適正な維持管理を行った。
	・実施手段は妥当か		■ 妥当　□ おおむね妥当　□ 改善の必要あり　□ その他
		理由	直営や外部委託により適正な維持管理を行った。
成果	・意図した成果が得られているか		□ 得られている　■ おおむね得られている　□ 得られていない　□ その他
		理由	下水道施設の維持管理及び突発的な修繕に対応している。
効率性	・コストに対して効率的か		□ 効率的　■ おおむね効率的　□ 非効率　□ その他
		理由	直営でなく外部委託により対応することも検討の余地がある。
	・コストの削減等を図ったか		□ 図った　□ 図られていない　□ 図る余地は無い　■ その他
		理由	直営でなく外部委託により対応することも検討の余地がある。

担当課による評価	■ A 妥当性、成果、効率性はおおむね良いが、改善の余地がある □ B 事業の一部見直しが必要 □ C 事業の抜本的な見直しが必要 □ D 事業継続の必要性が低い（休止・廃止）	評価理由 住民要望に応えられるよう、今後も適切な維持管理を行っていく。

5.改革・改善の方向性

① 課題点や改善点
三沢川等河川の浚渫箇所を工夫（隔年等）して、委託発注している。
② 平成28年度に着手する事項
今後も三沢川等河川の浚渫箇所を工夫して、委託発注する。
③ 平成29年度に着手する事項
今後も三沢川等河川の浚渫箇所を工夫して、委託発注する。

6.平成29年度事業への取組み状況（改善内容等）

記入日	平成29年3月27日

三沢川等河川の浚渫箇所を工夫（隔年等）して委託発注すると共に、河川構造物の劣化・老朽化が進んでいる箇所は、優先度を考慮した上で、その状況に応じ適切な修繕を行っていく。
好ましい水辺環境を保全するため、除草作業や不法投棄物の撤去について内容を精査し実施する。